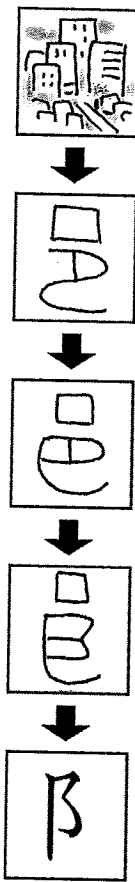




「大里」……邑の意味

「邑（人の住む町を表した字）」の略形の「邑」が変化した形で、「町」の意味に使われま



字例 都・郡・郵

「都」は、宀と、くずもの入れに物がいっぱい詰め込まれた「形」を表し、「物がひどく多い」ことを意味する者、とを組み合わせた字です。「人がおおぜい住んでいる町」を表し、「大きな町」の意味に使われます。

ちなみに、この宀（大里）と字形は同じですが、これが扁として用いられた場合は、すでに登場した「小里」になり、「崖」の意味を表します。

このように字形が同じなのに、旁として用いられるか扁として用いられるかで意味が違ってきますが、それはこの二つの部首の成り立ちや意味を知っていれば混乱する

ことはないでしょう。

③ 冠

上と下に分けられる場合、「上」の部分を「冠」といいます。

「扁」と同じく、多くが意味を表します。



「ウ冠」……家の意味

「家」の形を表し、「家」の意味に使われます。



字例 安・完・宝

「安」は、宀と、女を表す女とを組み合わせた字です。「家の中に、留守を守る女の人がいて安心してられる」ことを表し、「心が安らかである」という意